



馬場川通りに誕生した学生用シェアハウス「シェアフラット馬場川」
＝前橋市千代田町



①共有サロンの訪れた見学者に、建物の説明をする前橋工科大学院の石田敬明教授(左)とメンバーや学生ら。昨年11月、今月6日にオープンした「シェアフラット馬場川」の内部の様子。②キッチン。③共有スペース。④壁の補修作業中。

つながるシェアハウス

「前橋モデル」で街中を元気に

築45年の雑居ビルがオシャレなシェアハウスに変身！前橋市千代田町の中央通り商店街に学生用シェアハウス「シェアフラット馬場川(ばばっかわ)」が誕生した。地元商店主や企業経営者、大学教授らで構成する「前橋まちなか居住有限責任事業組合」(LLP)が開設し、先月24日から入居者を募っている。商店街に学生の居住スペースを作ることで街中再生を図る試みは全国的にも珍しく、「前橋モデル」として注目を集めそうだ。(中島美江子)

【内装に約300人】 3階建ての空きビルを改装したシェアハウスは、馬場川通りと中央通りの交差点に位置している。工事は昨年10月に着工。内装作業の一部を、建築士らで作る「前橋ケンテラ部」や学生、市民がボランティアで手伝った。総事業費は約400万円。LLP組合員による出資や日本政策投資銀行からの融資、県や市の補助金などをつとめて、1月末に完成し、23、26日に開かれた内覧会には市内外から約300人が来場。LLPの組合員代表は、シェアハウスに対する関心の高さを感じた。ここを拠点に、2人で暮らす学生を呼び寄せ、壁の補修やゴミの回収などを行う。関係者は「一連の取り組みを、全国に発信していきたい」と意気込んでいる。

【学生に「住む場所」を】 1階は学生生活者としての学生を増やすことで中心市街地の賑わいを生み出すのが狙い。昨秋開始した「前橋ケンテラ部」を始め、シェアハウス「前橋モデル」の運営は、地元商店主や企業経営者、大学教授らで構成する「前橋まちなか居住有限責任事業組合」(LLP)が開設し、先月24日から入居者を募っている。商店街に学生の居住スペースを作ることで街中再生を図る試みは全国的にも珍しく、「前橋モデル」として注目を集めそうだ。(中島美江子)

【シェアフラット馬場川】誕生 設計を担当した前橋工科大学院、建築士の石田敬明教授は、学生同士で暮らすことで、色や形といった種々の要素は、壁の補修やゴミの回収などを行う。関係者は「一連の取り組みを、全国に発信していきたい」と意気込んでいる。

朝日ぐんま

朝日新聞姉妹紙



発行 朝日ぐんま
☎ 027-221-1435
http://www.asahigunma.com
Email: office@asahigunma.com
編集室 企画室
朝日フォトコンテスト事務局
〒371-0805
群馬県前橋市南町4-37-8
1階1号
FAX 027-221-1768

朝日新聞東京本社
〒104-8011
東京都中央区築地5-3-2
☎ 03-3545-0131

朝日新聞前橋総局
〒371-0026
前橋市大手町2-4-9
☎ 027-221-1101

群馬朝日会
〒371-0805
前橋市南町4-37-8
☎ 027-221-5765

テレビ朝日前橋支局
〒371-0023
前橋市本町1丁目10-5
☎ 027-224-8030

情報をお待ち
しています
お店、サークル、イベント、企業や団体、街の話
などをお寄せ下さい
朝日ぐんま編集室

ご相談をお待ち
しています
新規オープンやキャンペーン、PR、販促、広告
などご相談下さい
朝日ぐんま企画室